

上田未来学ゼミ #5【まとめ】

日 時 令和3年2月5日（金）19：00～21：00
 配信会場 上田市役所 会議室（Zoomによるオンライン配信）
 参加人数 12名（このほかスタッフ2名参加）

【講演（約50分）・ワークショップ（約60分）※オンラインによる質疑応答】

テーマ：個性を育む場づくりを考える ～子ども・若者の「やりたい」からはじめてみる～
 講師：平岡 駿 氏（学校法人 角川ドワンゴ学園）

<講師による経験談・活動内容の紹介>

- ・信州大学教育学部入学後、松本での生活で地域の方々と触れ合い、サークルでフリーペーパー制作や「エコ」関連イベント立上げなど、地域との関わりに興味を持った。
 - ・大学3年の教育実習で「教育」に向き合う転機もあり、その後は「地域×教育」の取組として坂城町、小布施町をフィールドに活動を展開してきた。
 - ・現在は私立の通信制高校「角川ドワンゴ学園N高等学校」に勤務、学力以外の能力として「21世紀型スキル能力開発」の実践、研究を進めている。
- ※21世紀型スキル：コミュニケーション能力や問題解決に向けた思考スキルなど



<参加者との質疑応答や今後の活動展開について>

- 「学びの場づくり」について、どんなところになって欲しいと思っているか？
 →「学び」は自発的であるべき。①好きなことを実践する、②活動しながら学習する、③大人や子どもと一緒に意見を言い合えるような「場づくり」が大切と考える。
- 参加した学生など若者からの提案に対する意見・提言など
 - ・環境保全に配慮した「ヘチマスポンジ」や「LFCコンポスト」の普及
 →塩田地域の小中学校との連携など、若者にも使いやすいデザインやアイデアを。
 - ・障がいのある人たち（場面緘黙など）が働けるカフェ経営
 →「注文を間違える料理店」も参考に、入店時ルールイラスト化など配慮を。
 - ・知的障がいのある方たちのアート作品など展示会の開催
 →製作者との交流の場も大切で、お互いの関わりの中で良い所に気づく事もある。
 - ・上田産のリンゴに模様を付けて販売するなどの事業展開
 →「真田氏」の赤を押し出すなど、地域ならではの商品化など「発想」が大事。

総括（講師による全体まとめ）

- ・誰でも参加できる「学びの場」をつくり、新しい発想や多様性を大事にしてほしい。
- ・小布施では「学生の学び」を中心とした展開により、若者の移住にもつながっている。